

## 小豆島町教育委員会

## 小学校・中学校

## 1 実践のテーマ

小豆島オリーブトップワンプロジェクト

## 2 目標

オリーブに親しむ機会を設けることで、愛郷心を育む。

## 3 内容

小・中学校への出前授業

- ・ 剪定実習
- ・ 歴史や品種等の学習
- ・ クラフト体験
- ・ 果実収穫

## 4 成果と課題

小豆島では日本におけるオリーブ栽培の「オンリーワン」として小豆島オリーブのブランドを確立してきたが、近年、全国各地においてオリーブの産地化に向けて栽培が活発化していることを受け、国内におけるオリーブ栽培の「オンリーワン」から「トップワン」を目指し、平成 23 年から「小豆島オリーブトップワンプロジェクト」に取り組んでいる。

小・中学校において、歴史や品種等の座学から、剪定作業、クラフト作り、果実収穫等の体験学習まで、小豆島町オリーブ課や小豆島オリーブ公園の職員による出前授業を行うことにより、児童生徒の郷土を愛する心を育むことにつながっている。

また、収穫した果実はオリーブ公園の職員が持ち帰り、新漬けに加工された後、小豆島町立学校給食センターに運ばれ、学校給食として提供されることから、児童生徒は実感を伴って郷土のよさを見つめ、地域をよくするために行動する力の育成につながっている。

このように、官民一体となり、地域の教育資源を活用したふるさと学習の工夫・充実を図っているところではあるが、講師の高齢化により、次年度よりクラフト作りの出前授業は実施できないことになっている。今後については、オリーブ課の職員で同様の体験学習が実施可能か、また、別の体験学習を実施するかなどについて模索していきたい。



【剪定実習】



【クラフト作り】



【果実収穫】